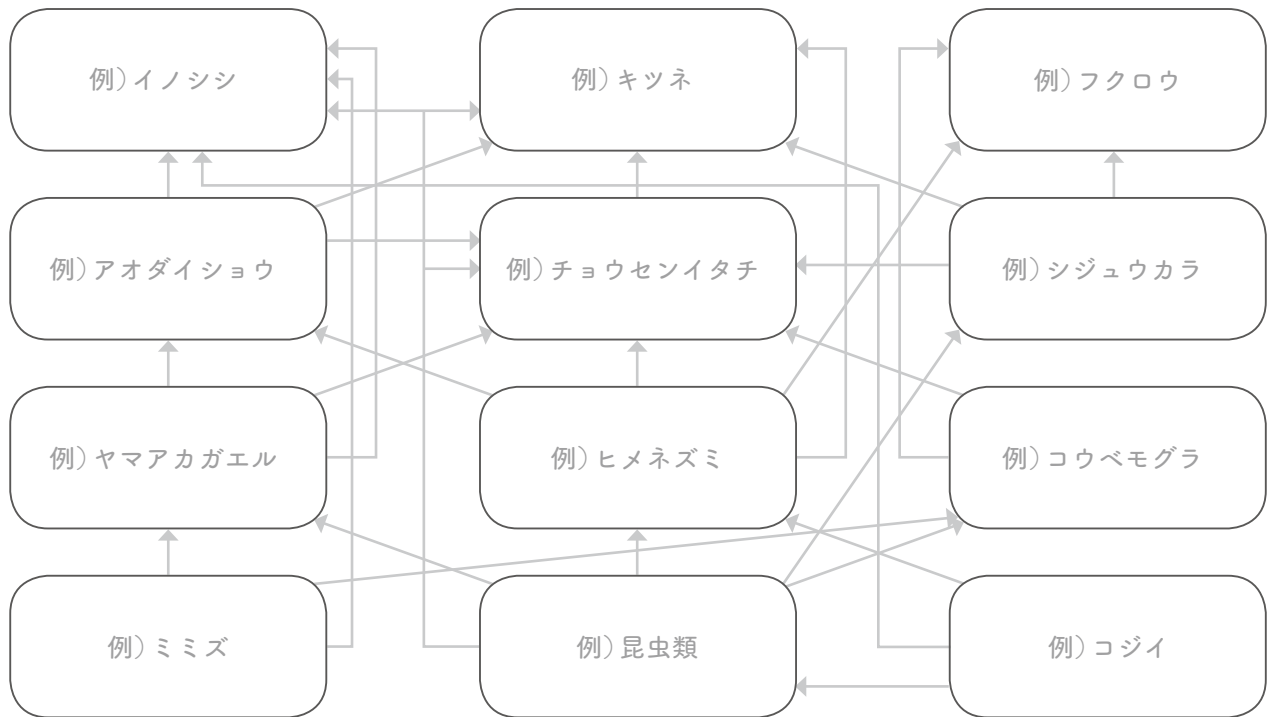


1 生物のつながりについて考えよう。

- (1) 自然発見館の6つのジオラマ「北九州の磯と干潟」、「北九州の川と池」、「北九州の林」、「北九州の草原」のどれかを見学し、興味をもった場所で、その地域にいる、またはいると予想される生物名をすべて下の空欄に書きましょう。

場所：例) 北九州の林



- (2) 書いた生物名を、食べられる生物→食べる生物のように、矢印(→)で結びましょう。

2 食物連鎖について考えよう。

- (1) すべての場所で共通していることは何でしょうか。気付いたことを書いてみましょう。

- ・ 食べられる生物は、植物が多い。
- ・ 食べられる生物は、食べる生物よりからだが小さいものが多い。
- ・ 食べられる生物は、食べる生物より数が多いものが多い。 など

- (2) 食物連鎖の特徴をまとめましょう。

- ・ 出発点は、多くの場合植物である。
- ・ 食べられる生物は、食べる生物より数が多い。
- ・ 「食べる」・「食べられる」という関係でとらえると、いくつかの生物が網の目のようにつながって見える。 など